

令和6年(2024年)

6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
1	6	6 定例	本会議	企画経営部	財政課	末永議員	財政状況について、市民へ共有するために広報の姿勢をあらためてほしい。	今後歳入増が見込めない中で、社会保障関連経費の増加や施設の老朽化、整備に係る経費の増、物価高騰など財政需要を押し上げる要因は複数あり、厳しい財政状況であると認識している。	財政状況について分かりやすく市民に広報する。	未済	令和5年度決算の広報において市の財政状況が分かりやすく伝わるよう工夫する。
2	6	6 定例	本会議	企画経営部	財政課	北山議員	市長が先頭になって今の財政状況を市民と共有し、理解を求めていくべき。	今後歳入増が見込めない中で、社会保障関連経費の増加や施設の老朽化、整備に係る経費の増、物価高騰など財政需要を押し上げる要因は複数あり、厳しい財政状況であると認識している。	財政状況について分かりやすく市民に広報する。	未済	令和5年度決算の広報において市の財政状況が分かりやすく伝わるよう工夫する。
3	6	6 定例	本会議	都市安全部	道路整備課	大川議員	仁川北岸踏切道は狭隘であることから、拡幅について阪急電鉄株式会社と協議を行った結果、踏切とプラットホームが近接していることから、踏切道の拡幅が困難とのことだが、河川側への拡幅や車道を縮めて歩行エリアを広げるなど、何か改善できる方法がないか再度、阪急電鉄株式会社と協議をして欲しい。 また、担当者レベルでは進まないとなった場合、包括連携協定に基づいて阪急電鉄株式会社に申し入れをすることも必要だと考える。	再度、阪急電鉄株式会社と協議を行う。 また、協議状況により、副市長から申し入れすることも検討する。	答弁に同じ。	未済	改善に向けて関係機関と調整しながら協議を継続している。
4	6	6 定例	本会議	都市整備部	住まいづくり推進課	泉議員	市営住宅の空き住戸について時代のニーズに適合した利活用を行っていくべきである。	平成12年(2000年)から令和4年(2022年)まで、グループホームとして2戸を目的外使用により活用していた。今後、ニーズがあれば、福祉部局と連携して取り組んでいく。	引き続きグループホーム事業について福祉部局と連携して取り組んでいく。 市営住宅の目的外使用による利活用の先進事例について、今後とも情報収集に取り組んでいく。	未済	市営住宅の目的外使用による利活用の先進事例について、今後とも情報収集に取り組んでいく。

令和6年(2024年) 6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄	
5	6	6	定例	本会議	都市整備部	住まいづくり推進課	泉議員	市営住宅をより利用してもらうため、孤独死などの心理的瑕疵物件を再募集する期間を1年より早くするべきである。	心理的瑕疵物件である特別募集住戸について、一律1年として運用しているが、住戸の状況や応募状況に応じて、募集期間を検討していく。	次回下期以降の募集の際に該当する募集住戸があれば、実施する。	済	
6	6	6	定例	本会議	健康福祉部	障害福祉課	三宅議員	日常生活用具給付において、物価高騰により販売価格が上昇している品目(主にストマ装具)について実態調査を行い、販売価格と給付基準額における乖離が生じている用具については見直しを検討すべきである。	まずは販売価格をはじめとする実態調査を行い、販売価格と基準額に乖離のある状態が長く続いていると判断される場合については、近隣他市の動向も踏まえながら見直しを行う。	答弁に同じ。	未済	令和6年度中に調査に着手する。
7	6	6	定例	本会議	健康福祉部	介護保険課	みとみ議員	訪問介護は在宅での生活を支える上で重要なサービスである。介護崩壊を引き起こさないため、介護保険の国庫負担割合を増やし、保険料・利用料の低減、介護報酬の抜本的な引上げを国に要望してほしい。	介護サービス事業者の現状を把握し、近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会から要望を上げていくなど対応していきたい。	訪問介護員がその専門性を発揮できる業務に専念できるよう、多様な担い手を活用するなどタスクシフト(業務を移管すること)を行い、課題となっている訪問介護員の負担軽減に努めていく。	未済	令和6年度の近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会から厚生労働省へ要望を行う。
8	6	6	定例	本会議	健康福祉部	生活支援課	田中議員	生活保護のしおりの見直しについて	ご指摘のあった保護決定の法定期間、学資保険の保有、バイクの保有、各種加算、権利と義務の記載の順番について、保護のしおりの見直しにあたっては、改善する方向で進めていきたい。	すでに、保護のしおりの改訂は行っているが、再度、指摘のあった箇所について改善する方向で見直しを行っていく。	未済	令和6年10月中には、調整のうえ改訂を行う。

令和6年(2024年) 6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄	
9	6	6	定例	本会議	子ども未来部	保育事業課	村松議員	延長保育について、日額制導入の実現に向けて取り組んでいくことを要望する。	現行の月額制は利用環境の整備のためという点で合理性がある。 広聴メールで日額制を望む要望は過去10年間で本年度に入って1件のみであり、利用日数が少ない保護者にとっては負担軽減の可能性がある一方で、保育施設における事務に係る現場の負担や、公費負担の増加、市の事務負担の増加による人件費への影響等も考えて慎重に検討する必要がある。	現行の月額制のメリットや必要性は高い。導入によるメリットだけではなく、デメリットとの比較検討等を行った結果、現時点では日額制の導入は見合わせる。	済	
10	6	6	定例	本会議	環境部	環境エネルギー課	寺本議員	今、市民の気候変動への関心は高まっている。市民の縮図をつくり、身近でできることをみんなで考える「気候市民会議」は有効な取組であるので、すぐには無理と思うが実施してほしい。	環境審議会等での審議や助成事業を通じて、市民等から意見を聞き、施策を進めているが、さらに多様な意見を把握し、施策に生かす手法として、「気候市民会議」についても、先行的に取り組む自治体の例を参考に研究していく。	答弁に同じ。	未済	札幌市や川崎市など、先行的に取り組む自治体の情報を収集し、研究していく。
11	6	6	定例	本会議	環境部	クリーンセンター管理課	藤岡議員	廃食用油を航空燃料SAFとして活用した取組を進めてほしい。まず、航空事業などと提携して実証実験からでも実施してほしい。	国において今後、サプライチェーンなどの体制構築が進んでいくことから国の動きを注視しながら今後検討していく。	まずは、来年開催する大阪・関西万博でグリーンチャレンジという脱炭素やごみ減量等に向けた7つの取組項目のひとつに廃食用油の回収があることから、全容がはっきりした段階で市のホームページ等で意識啓発の周知はしていきたい。 今後、廃食用油の回収からSAFも含めたりサイクルの実用化に向けて調査、検討していく。	済	
12	6	6	定例	本会議	学校教育部	教育研究課	川口議員	タブレット充電保管庫の活用状況を把握してほしい。	ICT関連機器の運用状況についても今後確認を進めていく。	答弁に同じ。	未済	各学校に活用状況についてのアンケートを今年度中に実施する。

令和6年(2024年) 6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄	
13	6	6	定例	本会議	学校教育部	教育研究課	浅谷議員	第2次GIGA推進計画の策定が遅れている。どのように進めていくのか考えてほしい。	原案は作成し、総合教育会議に提示している。	7月の情報化推進本部で成案を示す予定。	未済	7月に教育情報化推進本部で承認されたものを8月に公表する。
14	6	6	定例	本会議	学校教育部	教育支援課	藤岡議員	保護者会(保護者懇談会)の定期的な開催に向けて、今後の具体的な方向性は。	今後も、不登校の子どもをもつ保護者が孤立しないよう、来ていただいた保護者が相談しやすい場作りに努めながら、懇談会を開催していく。 なお、参加対象については、現在、教育相談来談者に限定していたが、今後は、不登校で悩んでいる保護者など、その幅を広げていく。 また、開催のタイミングについては、対象となる方々のご意見を伺いながら調整していく。	・保護者懇談会は自助会と位置づけ、相談を行い、互いに助け合う機会や場所を設けていきたい。 ・講師(ファシリテーター)を毎回3名参加していただいたが、講師予算をとっていないため、次年度より定期的な保護者会のための予算をとる必要がある。	済	
15	6	6	定例	本会議	学校教育部	教育支援課	藤岡議員	ホームページ上に情報を掲載しているが、ガイドラインとしての策定は。	不登校に関するガイドラインの策定については、本市の状況、支援策、出席扱いの考え方、関係書式、民間施設等の案内など、関係各課と調整を図りつつとりまとめ、今年度末の策定を目途に取り組む。	ガイドラインの策定を学校教育課と教育支援課で行っていく。	未済	今年度中に策定予定。
16	6	6	定例	本会議	学校教育部	教育支援課	藤岡議員	メタバース(仮想空間)を活用した不登校支援について。	メタバースは、いかなる専門機関ともつながっていない、外出できないといった子どもにとって、新たな居場所となる可能性を秘めており、本市でも体験イベントの実施などを通して、その効果を検証しているところである。	体験イベントの参加者アンケートをもとに、導入による効果や課題を検証する。	未済	体験イベントの内容改善を図りながら、メタバースが、対面での繋がりが難しい子どもたちにとって有効な支援策となりうるのか、引き続き検証を続けていく。

令和6年(2024年)

6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄	
17	6	6	定例	本会議	社会教育部	社会教育課	村松議員	オプトアウトなど国からの新しい情報をPTA役員がすぐに知るの難しいし、個人情報の取り扱いなどでPTA役員に不利益があつてはいけない。 各種テンプレートや情報のポイントなどを教育委員会が見える化することでPTAの伴走支援につながると思うが検討できないか。	PTAと学校のトラブル等を防ぐためにも、テンプレート整備などは重要である。PTAの意見も十分に聞きながら進めていく課題だと認識している。	答弁に同じ。	未済	要望事項について宝塚市PTA協議会などと協議を進める。
18	6	6	定例	本会議	社会教育部	スポーツ振興課	大島千議員	第20回宝塚ハーフマラソン大会の実施の告知が遅れているのではないかと。今年度は実施されないとされていて参加者も減る可能性があるため、早急に実施することについて、告知を行うこと。	答弁なし。	本年7月4日に第1回実行委員会を開催する予定であり、現状は実施について確定できていない状況である。	済	実行委員会開催後、実施する旨と実施日を市ホームページやスポーツ振興課SNSで周知した。また、昨年度と同じ8月1日に募集を開始した。
19	6	6	定例	本会議	社会教育部	中央図書館	北山議員	市立図書館山本南分室は、他の分室に比べて極端にスペースが狭いことから市立図書館協議会からも拡張が求められているところであり、例えば近隣の公共施設を一部活用する等により、スペースを確保検討できないか。	利用人数に比べてスペースが狭いという課題は認識しており、より広い場所の確保が望ましい。既に返却用ブックポストなどの位置を工夫し、スペース確保に努めているところがあるが、今後も利用環境の改善に努める。	近隣の公共施設については、様々なグループが利用されているため、図書館分室としての恒常的な利用が難しい状況である。	未済	分室周辺で活用できる公共施設がないか今後も可能性を探るとともに、少しでも利用しやすい環境を目指して検討を進める。